

# テストデータ作成

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 1. 概要 .....                | 2 |
| 2. テストデータ作成方法.....         | 3 |
| 3. テストデータ作成で出力されるデータ ..... | 6 |
| 4. テストデータ作成 詳細設定項目 .....   | 7 |

## 1. 概要

テストデータ作成は、帳票資源ファイルのテスト実行用のテストデータを作成する機能です。  
CSV、TXT、XML データマップの帳票資源ファイルに対して、テストデータを作成できます。

## 2. テストデータ作成方法

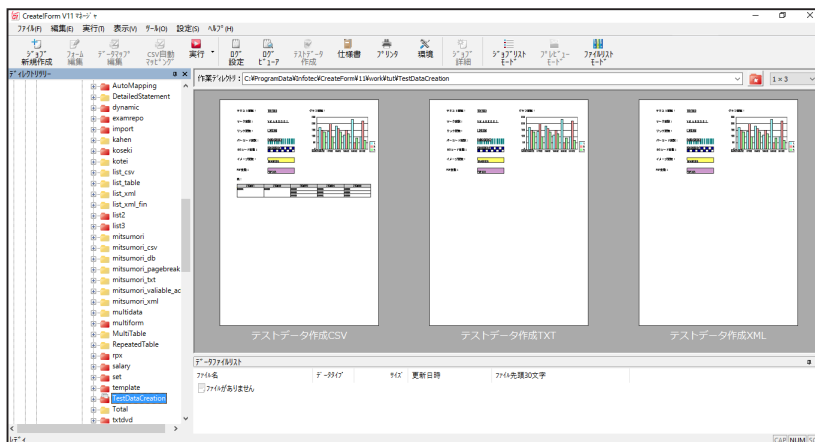
テストデータ作成の操作方法を説明します。

### 1. 準備

ジョブファイルとフォームファイル、データマップファイルの作成は、通常通りに行います。ここでは、ジョブファイルとフォームファイル、データマップファイルの作成が完了した帳票資源ファイルが“帳票資源フォルダ ¥tut¥TestDataCreation”に用意されていますので、このファイルを使用して説明します。

帳票資源フォルダはマネージャの [ ヘルプ ]-[ バージョン情報 ]-[ バージョン情報詳細 ] で確認できます。

図：マネージャ



#### ◆◆操作◆◆

マネージャを起動します。画面左のフォルダツリーから

“帳票資源フォルダ ¥tut¥TestDataCreation”

を選択します。帳票一覧より、「テストデータ作成 CSV」を選択し、ダブルクリックで Form エディタを開き内容を確認後、Form エディタを閉じます。

### 2. テストデータ作成

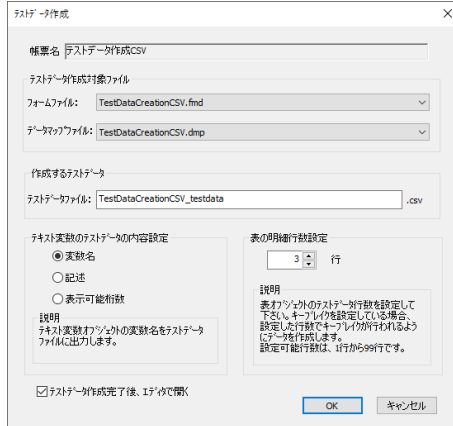
テストデータ作成は、マネージャの [ テストデータ作成 ] ダイアログより行います。

#### ◆◆操作◆◆

ツールボタンより [ テストデータ作成 ] をクリックします。

テストデータダイアログが表示されました。

図：テストデータ作成



## ◆◆操作◆◆

テストデータ作成対象ファイルが次のファイルであることを確認します。

フォームファイル： TestDataCreationCSV.fmd

データマップファイル： TestDataCreationCSV.dmp

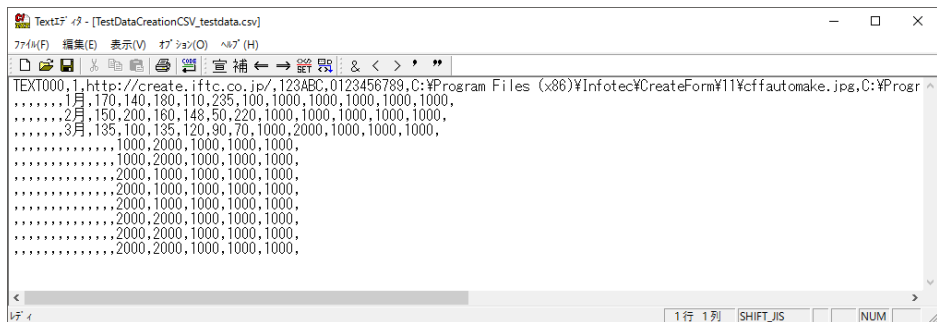
作成するテストデータが次のファイルであることを確認します。

テストデータファイル： TestDataCreationCSV\_testdata.csv

[ OK ] ボタンをクリックします。

選択した帳票の作業ディレクトリ内に、テストデータが作成されます。

図：出力されたテストデータ



作成したテストデータを用いて、テスト実行を行います。

## ◆◆操作◆◆

マネージャーのプレビューより「テストデータ作成 CSV」を選択します。

データファイルリストから作成した「TestDataCreationCSV\_testdata.csv」を選択します。

ツールボタンより [ 実行 ] ボタンをクリックします。

図：テスト実行ダイアログ

## ◆◆操作◆◆

テスト実行ダイアログ上で、

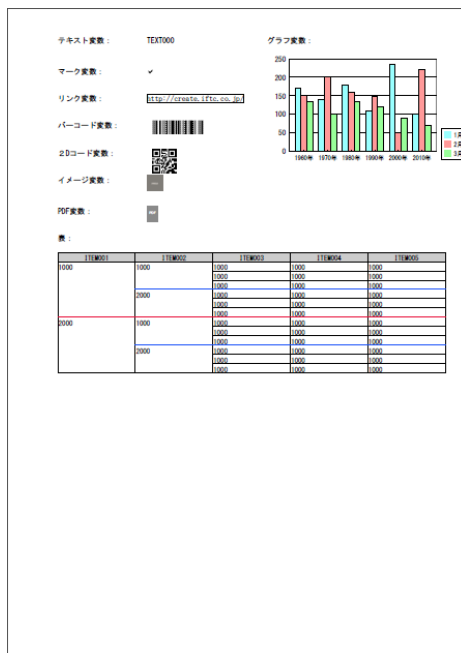
データマップ名： TestDataCreationCSV

データソース名： TestDataCreationCSV\_testdata.csv

が選択されていることを確認します。

実行ランタイムで、[Cast] を選択し、[プレビュー] をクリックします。

図：実行結果



### 3. テストデータ作成で出力されるデータ

テストデータ作成で出力されるテストデータは以下のとおりです。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 文字コード                      | : Shift_JIS  |
| 出力データ                      |  |
| テキスト変数<br>(表のセル、<br>表連携除く) | : 変数名・記述・表示可能桁数 から選択ができます。<br>変数名、記述は、Form エディタでテキスト変数に設定された<br>内容が出力されます。<br>表示可能桁数は、テキスト変数の定義領域に収まる最大文字数<br>分の「X」が出力されます。<br>また、自動改行・流し込みが設定されていた場合は、上記の文字<br>数の 1.5 倍の文字数が出力されます。<br>(文字数は、定義領域とフォントサイズ幅から計算されます。<br>プロポーショナルフォント選択時は領域内に収まらないことが<br>あります。) |
| マーク変数                      | : 1  |
| リンク変数                      | : <a href="http://www.createform.jp/">http://www.createform.jp/</a>  |
| バーコード変数                    | : バーコード規格にあった既定の値  |
| 二次元コード変数                   | : バーコード規格にあった既定の値  |
| イメージ変数                     | : サンプルイメージへの絶対パス   |
| グラフ変数                      | : グラフ種別にあったサンプルデータ   |
| PDF 変数                     | : サンプル PDF への絶対パス  |
| 表・表連携                      | : テキスト : 1000<br>イメージ : サンプルイメージへの絶対パス<br>バーコード : バーコード規格にあった既定の値<br>表の明細行数 : 指定行数 (1-99 行)<br>表のキーブレイク回数 : 3 (固定)   |

※ テストデータとして出力されるデータはデータ編集機能を考慮しておりません。  
各機能の動作を確認したい場合は、出力されたデータを編集内容にあった形式に修  
正して使用してください。

## 4. テストデータ作成 詳細設定項目

図： テストデータ作成ダイアログ

### [ 帳票名 ]

対象となる帳票名が表示されます。

### [ テストデータ作成対象ファイル ]

#### [ フォームファイル ]

対象となるフォームファイルを選択します。

対象帳票が複合表の場合は、フォームファイル名と表を選択します。

#### [ データマップファイル ]

対象となるデータマップファイルを選択します。

### [ 作成するテストデータ ]

#### [ テストデータファイル ]

作成するテストデータファイル名を指定します。

テストデータ出力先は、対象帳票の作業ディレクトリとなります。

ドライブやディレクトリを含むパスで指定することはできません。

### [ テキスト変数のテストデータ内容 ]

テキスト変数に対して出力するデータの内容を指定します。

#### [ 変数名 ]

変数名をデータとして出力します。

#### [ 記述 ]

変数に設定されている記述をデータとして出力します。

#### [ 表示可能桁数 ]

テキスト変数の定義領域 (Form エディタで設定) に印字可能な最大文字数の「X」を表示します。

印字可能な最大文字数は、テキスト変数に設定されたフォントサイズと領域幅から計算されます。(固定ピッチフォント (MS 明朝など) で計算された値で文字数は計算されますのでプロポーショナルフォントが設定されている場合は実際に出力される文字数とは異なりますのでご注意ください。)

## 〔 表の明細行数設定 〕

表オブジェクトが定義されている場合の明細行数（1-99 行）を指定します。

## 〔 テストデータ作成完了後、エディタで開く 〕

テストデータ作成完了後に、テキストエディタで作成されたデータが表示されます。